

試験日	令和5年5月22日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

この法律において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。

()

問2【貨物自動車運送事業法】（許可の基準）

その事業を自ら適確に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。

()

問3【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

事業者は、事業用自動車の数、荷役その他の事業用自動車の運転に附随する作業の状況等に応じて必要となる員数の運転者及びその他の従業員の確保、事業用自動車の運転者がその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備及び管理、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。

()

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、やむを得ない場合を除き、特定の荷主に対し不当な差別的取扱いをしてはならない。

()

問5【貨物自動車運送事業法】（事業）

地方実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他この法律又はこの法律に基づく命令の遵守に関し一般貨物自動車運送事業者、特定貨物自動車運送事業者及び貨物軽自動車運送事業者に対する指導を行う。

()

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】（届出）

事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合、許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長へ届け出なければならない。

()

問 7 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

()

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過積載の防止）

事業者は、過積載による運送を行うときは、運転者その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

()

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業者等が事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、「事故発生当時の天候」は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項である。

()

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運転者台帳）

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを一年間保存しなければならない。

()

問 11 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者等の選任）

事業者は、運行管理者資格者証を有する者又は国土交通大臣が認定する講習を修了した者のうちから、運行管理者の業務を補助させるための者（補助者）を選任することができる。

()

問12【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理規程）

事業者は、運行管理者の職務・権限等に関する運行管理規程を定め、遅滞なく、国土交通大臣に届出なければならない。

()

問13【自動車事故報告規則】（速報）

事業者は、その使用する自動車について、事故があったときは、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないが、該当する事故について、正しいものには○を、誤っているものには×を()内に記入しなさい。

ア. 荷物がき損・破損したもの ()

イ. 二人の死者を生じたもの ()

問14【道路運送法】（自動車に関する表示）

自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の前後に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

()

問15【道路運送車両法】（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

また、点検の結果、当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態または適合しない状態にあるときは、保安基準に適合させるために当該自動車について必要な整備をしなければならない。

()

問 1 6 【道路運送車両法】（整備管理者選任届）

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から15日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

()

問 1 7 【労働安全衛生法】（事業者等の責務）

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。

()

問 1 8 【私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律】（不公正な取引方法）

事業者は、やむを得ない場合を除き私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。

()

問 1 9 【下請代金支払遅延等防止法】（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日は、親事業者が下請事業者の給付の内容について検査をするかどうかを問わず、親事業者が下請事業者の給付を受領した日（役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日。）から起算して、30日の期間内において、かつ、できる限り短い期間内において、定められなければならない。

()

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び
() 内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】(事業計画)

【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業計画の変更の届出)

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き国土交通大臣の認可を受けなければならないが、認可事項に該当するものとして正しいものはどれか。次のア～オの中から1つ選び () 内にその記号を記入しなさい。

- ア. 主たる事務所の位置の変更
 - イ. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名の変更
 - ウ. 営業所の名称の変更
 - エ. 休憩睡眠施設の位置の変更
 - オ. 主たる事務所の名称の変更
- ()

問2 【貨物自動車運送事業法】(運行管理者資格者証)

国土交通大臣が運行管理者資格者証を交付することができる者はどれか。ア～ウの中から1つ選び () 内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業者等の営業所の管理に関し5年以上の実務の経験を有する者
 - イ. 事業者等の自動車運転者の運転の業務に関し5年以上の実務の経験を有し、国土交通大臣が定める講習を5回以上受講した者
 - ウ. 運行管理者試験に合格した者
- ()

問3【貨物自動車運送事業法施行規則】（運送約款の記載事項）

法第10条第1項に規定する運送約款に記載しなければならない事項として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車に関する事項
- イ. 運送の引受けに関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項
- エ. 事業者の保管施設に関する事項

()

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行指示書による指示等）

事業者等は、第7条第3項に規定する乗務を含む運行ごとに、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものはどれか。次のア～オの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る。）
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置
- エ. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- オ. 乗務員の氏名

()

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（従業員に対する指導及び監督）

事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者はどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運転免許証の更新を行った者
- イ. 高齢者（65才以上の者をいう。）
- ウ. 運転経歴が5年間を満たさない者

（ ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～カの中から3つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 定められた勤務時間及び乗務時間の範囲内において乗務割を作成し、これに従い運転者を事業用自動車に乗務させること。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録すること。
- オ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- カ. 運転者台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

（ ）（ ）（ ）

問7【道路運送法】(有償運送)

自家用自動車(事業用自動車以外の自動車をいう。)は、次に掲げる場合を除き有償で運送の用に供してはならないが、誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車が故障のため一時的に不足しているとき
 - イ. 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するとき
 - ウ. 災害のため緊急を要するとき
- ()

問8【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められているが誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。
 - イ. 拘束時間は、労使協定がないとき、1か月について293時間を超えないものとする。
 - ウ. 勤務終了後、継続6時間以上の休息期間を与えること。
 - エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- ()

試験日	令和5年5月22日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

この法律において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。

(○)

問2【貨物自動車運送事業法】（許可の基準）

その事業を自ら適確に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。

(○)

問3【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

事業者は、事業用自動車の数、荷役その他の事業用自動車の運転に附随する作業の状況等に応じて必要となる員数の運転者及びその他の従業員の確保、事業用自動車の運転者とその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備及び管理、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。

（ × ）

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、やむを得ない場合を除き、特定の荷主に対し不当な差別的取扱いをしてはならない。

（ × ）

問5【貨物自動車運送事業法】（事業）

地方実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他この法律又はこの法律に基づく命令の遵守に関し一般貨物自動車運送事業者、特定貨物自動車運送事業者及び貨物軽自動車運送事業者に対する指導を行う。

（ ○ ）

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】（届出）

事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合、許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長へ届け出なければならない。

（ ○ ）

問 7 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

(○)

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過積載の防止）

事業者は、過積載による運送を行うときは、運転者その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

(×)

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業者等が事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、「事故発生当時の天候」は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項である。

(×)

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運転者台帳）

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを一年間保存しなければならない。

(×)

問 11 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者等の選任）

事業者は、運行管理者資格者証を有する者又は国土交通大臣が認定する講習を修了した者のうちから、運行管理者の業務を補助させるための者（補助者）を選任することができる。

(○)

問12【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理規程）

事業者は、運行管理者の職務・権限等に関する運行管理規程を定め、遅滞なく、国土交通大臣に届出なければならない。

（ × ）

問13【自動車事故報告規則】（速報）

事業者は、その使用する自動車について、事故があったときは、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないが、該当する事故について、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

ア. 荷物がき損・破損したもの （ × ）

イ. 二人の死者を生じたもの （ ○ ）

問14【道路運送法】（自動車に関する表示）

自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の前後に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

（ × ）

問15【道路運送車両法】（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

また、点検の結果、当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態または適合しない状態にあるときは、保安基準に適合させるために当該自動車について必要な整備をしなければならない。

（ ○ ）

問16【道路運送車両法】（整備管理者選任届）

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から15日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

（ ○ ）

問17【労働安全衛生法】（事業者等の責務）

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。

（ ○ ）

問18【私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律】（不公正な取引方法）

事業者は、やむを得ない場合を除き私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。

（ × ）

問19【下請代金支払遅延等防止法】（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日は、親事業者が下請事業者の給付の内容について検査をするかどうかを問わず、親事業者が下請事業者の給付を受領した日（役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日。）から起算して、30日の期間内において、かつ、できる限り短い期間内において、定められなければならない。

（ × ）

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び
() 内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】(事業計画)

【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業計画の変更の届出)

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き国土交通大臣の認可を受けなければならないが、認可事項に該当するものとして正しいものはどれか。次のア～オの中から1つ選び () 内にその記号を記入しなさい。

- ア. 主たる事務所の位置の変更
- イ. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名の変更
- ウ. 営業所の名称の変更
- エ. 休憩睡眠施設の位置の変更
- オ. 主たる事務所の名称の変更

(エ)

問2 【貨物自動車運送事業法】(運行管理者資格者証)

国土交通大臣が運行管理者資格者証を交付することができる者はどれか。ア～ウの中から1つ選び () 内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業者等の営業所の管理に関し5年以上の実務の経験を有する者
- イ. 事業者等の自動車運転者の運転の業務に関し5年以上の実務の経験を有し、国土交通大臣が定める講習を5回以上受講した者
- ウ. 運行管理者試験に合格した者

(ウ)

問3【貨物自動車運送事業法施行規則】（運送約款の記載事項）

法第10条第1項に規定する運送約款に記載しなければならない事項として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車に関する事項
- イ. 運送の引受けに関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項
- エ. 事業者の保管施設に関する事項

(イ)

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行指示書による指示等）

事業者等は、第7条第3項に規定する乗務を含む運行ごとに、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものはどれか。次のア～オの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る。）
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置
- エ. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- オ. 乗務員の氏名

(ウ)

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（従業員に対する指導及び監督）

事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者はどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運転免許証の更新を行った者
- イ. 高齢者（65才以上の者をいう。）
- ウ. 運転経歴が5年間を満たさない者

（ イ ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～カの中から3つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 定められた勤務時間及び乗務時間の範囲内において乗務割を作成し、これに従い運転者を事業用自動車に乗務させること。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録すること。
- オ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- カ. 運転者台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

（ ア ）（ ウ ）（ カ ）

問7【道路運送法】(有償運送)

自家用自動車(事業用自動車以外の自動車をいう。)は、次に掲げる場合を除き有償で運送の用に供してはならないが、誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車が故障のため一時的に不足しているとき
- イ. 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するとき
- ウ. 災害のため緊急を要するとき

(ア)

問8【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められているが誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。
- イ. 拘束時間は、労使協定がないとき、1か月について293時間を超えないものとする。
- ウ. 勤務終了後、継続6時間以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。

(ウ)

北陸信越運輸局

(注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回							再試験							合計																
	受験者数	内訳		合格者数	内訳		不合格者数	内訳		合格率	受験者数	内訳		合格者数	内訳		不合格者数	内訳		合格率											
		新規	譲渡等		新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等		新規	譲渡等												
R5.5.22	5	4	1	4	3	1	1	1	0	80.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	5	4	1	4	3	1	1	1	0	80.0%